

事業所名 デイサービスにじのご赤堤

公表日

2025年3月15日

8名中8名

	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点
環境・体制整備	1 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	8		・使用しない時は机や机を片付けたり、コーナーを分ける工夫をすることで、遊ぶスペースを確保している。	
	2 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	8		・マンツーマン対応の利用者にも対応できるよう基準を超える十分な職員を配置している。 ・配置基準以上の職員を整えている。必要に応じて職員を増やして調整している。 ・利用希望者が多い時には、職員を増やす等の対策を講じている。	
	3 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7	1	・トイレの前に段差があるが、足元が不安定な利用者には職員が付き添っている。 ・荷物を置くロッカーには、利用者の顔写真を掲示することにより視覚的に置く場所を把握できるようにしている。 ・トイレは職員と一緒に入れるスペースがある。 ・防音、防振のマットを敷いている。 ・利用者にとってわかりやすく使いやすい環境になっている。 ・マットを活用する等してスペースを分け、過ごし方の工夫ができています。	
	4 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	8		・毎日の清掃、消毒を行い清潔な環境に気を付けている。 ・定期的に布製品の洗濯や空気清浄機、エアコンのフィルター掃除をしている。 ・空気清浄機や換気を行い感染症予防に努めている。 ・整理整頓された空間づくりができています。	
	5 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7	1	・必要に応じて室内のレイアウトを変える等して使用している。 ・スペース的に部屋はないが、コーナーを作って宿題に取り組める環境を整えている。 ・必要に応じて別室(事務室)で休める環境はある。 ・玄関前のソファークールダウンのスペースにもなっている。	
業務改善	6 業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	8		・自己評価表を活用して取り組んでいる。業務上で気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っている。 ・定期的に振り返って改善につなげている。 ・目標の設定や評価には非常勤職員も参加している。	
	7 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・評価表の結果をまとめたものを確認しながら常勤職員より業務改善についての説明を受けている。 ・毎年アンケートを実施し、検討事項があれば改善につなげている。	
	8 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	8		・毎日の申し送りや振り返り等、意見交換する場を設け、業務改善につなげている。 ・気になる点が出てきた際には、都度職員間で話し合いを行っている。	
	9 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。	8		・令和元年に実施し、その評価を受け改善につなげている。 ・第三者評価を数年ごとに行っている。	
	10 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	8		・外部の研修や事業所内で行う研修を定期的に行っている。 ・内部研修や区や都が主催のオンライン研修等に積極的に参加している。 ・今年度は強度行動障害支援者研修の受講をした。	
	11 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	8		・毎月発行しているにじのごだよりに掲載している。 ・それぞれのニーズに合わせたプログラムの提供ができています。 ・ノートやお便りで保護者に内容を知らせている。	・現在、ホームページに公表するための作業を行っている。
	12 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	8		・職員間で気になることやできていることを確認し作成している。 ・面談で丁寧な聞き取りを行い、個々に応じた目標設定を行っている。	
	13 放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	8		・課題や支援方法について情報共有を行っている。利用者の発達段階や意向、保護者の要望も考慮しながら検討を重ねている。 ・計画作成時に意見を出し合って立案している。	
	14 放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	8		・支援に入る前に申し送りをし、計画に沿った支援を行うよう努めている。 ・支援の中で気づいたことを共有し、必要に応じて支援方法の見直しや工夫を検討している。 ・共通の認識が持っている。	
	15 こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	8		・保護者との面談や日々の様子を観察してアセスメントを実施している。 ・初回面談時に指標を確認している。	

適切な支援の提供	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>定期的なアセスメントを行った上で、本人や保護者のニーズに沿った計画を作成している。</li> <li>必要な項目を設定し、具体的な支援内容を設定している。</li> <li>保護者に丁寧に聞き取りをし、こちらからの提案もしながら支援を提供している。</li> </ul>	
	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>主にプログラムを担当する職員が行うことが多いが、振り返りの場面で意見を出し合っている。</li> <li>職員のアイデアを取り入れながら、ブラッシュアップを行っている。</li> <li>職員がそれぞれの得意分野を活かしてプログラムの検討と実施している。</li> </ul>	
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>長期休みの活動では各職員の強みを生かしたプログラムを行い、マンネリ化しないように創意工夫している。</li> <li>月ごとにプログラムを決めている。新しいことを取り入れたり、利用者の反応を見ながら工夫している。</li> </ul>	
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせて放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>子どもの特性や状況に応じて課題を見極めて提供している。</li> <li>子どもの状況に応じて、個別活動、集団活動を組み合わせて計画を作成し、支援を行っている。</li> <li>自由時間にICT機器を活用する等個別のニーズに合わせた支援を提供している。</li> </ul>	
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>利用者一人一人の現在の様子、家庭からの連絡や当日注意すべき点、役割分担を職員間で共有している。</li> <li>必ず申し送りを行い、支援方法やヒヤリハット等確認し共通認識を持って支援している。</li> <li>支援内容や役割分担を確認し、連携して取り組んでいる。</li> </ul>	
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>その日の活動について必ず振り返りを行い、気づいた点や良かったこと、支援で困ったところ等を出し合い、共有することで、同じ方向性を見つけられるようにし、次回の支援に活かしている。この振り返りを通じて、多くの気付きを得ることができている。</li> </ul>	
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>振り返り後に記録を取ることで利用者の状況を把握し、次回の支援に活かしている。</li> <li>一人一人の目標に沿った丁寧な記録の記載ができている。</li> </ul>	
	23	定期的なモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>半年に1回のモニタリングを実施し見直しを行っている。</li> </ul>	
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせて支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>ガイドラインに沿った内容で社会生活を見据えた支援を行っている。</li> </ul>	
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>日々のプログラムに加え、利用者のやりたいことを聞きながら、それに合わせた活動を取り入れている。</li> <li>必要な場面では複数の中から選択する機会を設けたり、参加しない選択肢も設けている。</li> </ul>	
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて、現場をよく把握している職員が参加している。</li> </ul>	
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>必要に応じて連絡を取り合っている。</li> </ul>	
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者の了承を得て、学校のお便りや年間行事等をコピーして情報を把握している。必要に応じて直接学校と情報共有を行っている。</li> </ul>	
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>保護者からの聞き取りや、就学前に利用していた事業所の資料を提出いただいて情報共有、相互理解に努めている。</li> </ul>	
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>依頼があった場合に情報を提供する準備はできている。</li> </ul>	
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	5	3		<ul style="list-style-type: none"> <li>今年度は行っていない。まずは、児童発達支援センターとの情報交換を行い、具体的な連携の方法や活用できる支援について検討したい。</li> </ul>
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>交流の目的や安全面への配慮を踏まえながら、どのような形で連携が可能かを考え、子どもたちにとって安心して参加できる機会を模索したい。</li> </ul>	
	33	(自立支援)協議会等へ積極的に参加しているか。	4	4		<ul style="list-style-type: none"> <li>現在、法人の代表が鳥山エリアの協議会には参加しているが、事業所がある北沢エリアには参加していない。今後は北沢エリアの連携強化も視野に入れ、必要に応じて情報収集や意見交換の機会を持つことを検討したい。</li> </ul>
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	8		<ul style="list-style-type: none"> <li>主に常勤職員が行っているが、打ち合わせ等の場面で非常勤職員にも伝え共通理解を得ている。</li> <li>子どもの様子を連絡帳や送迎時、電話等で伝えている。</li> <li>その都度できたことや、困ったこと等を連絡帳、電話、直接お会いした時に伝えている。また面談時には活動の様子を撮影した写真を見せながら伝えている。</li> </ul>	

保護者への説明等	35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	4	3		・ペアレントトレーニング等の研修を受講し、保護者にも研修の情報提供をしていく。
	36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	8			・契約時に書面を見ながら読み上げ、丁寧に説明している。変更があった際にはその都度説明している。
	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	8			・面談時に確認している。
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	8			・面談時に確認し同意を得ている。
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	8			・保護者の話を傾聴し、個々の状況に応じた助言や支援を行っている。家庭での状況や希望を共有しながら、不安や悩みを軽減できるよう努めている。 ・相談があった場合には、一緒に考え問題解決につなげている。
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機械を設ける等の支援をしているか。	2	6		・保護者会等の交流する機会を設けていないが、保護者の皆様の意見を伺いながら、どのような形が適切かを含めて検討していく。
	41	こどもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	8			・契約時に相談窓口について説明している。迅速に対応できる仕組みができています。
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。	8			・毎月のお便りのにじのこだよりや、季刊誌のにじのこめーる等で発信している。 ・今後はHPをより効果的に活用し、必要な情報を分かりやすく届けられるよう改善していく。
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	8			・個人情報が記載されている書類等は鍵付きロッカーに保管し取り扱いには十分に気を付けている。また、廃棄する場合はシュレッダーを使用している。
	44	障害のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	8			・サインを使用したり、個々に合った話し方の工夫を取り入れ、子どもに適した情報伝達を行っている。 ・保護者には個別に対応し、丁寧なコミュニケーションを心がけている。
45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	4	4		・町内会に参加することで地域に当施設の存在を知ってもらえるよう努めている。 ・感染症防止のため招待する機会は設けていないが、今後は機会を設けていきたい。ボランティアの受け入れをしている。 ・利用者が地域で受け入れられるためにも地域の方々との交流が望まれる。町内会をはじめとする地域の関係者と情報交換をし、施設と地域が無理なく関われる方法を検討していきたい。	
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	8			・必要に応じて書面にて配布され周知し、月一回の避難訓練を実施している。 ・毎月避難訓練を実施している。各マニュアルは作成し更新している。
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	8			・活動中に利用者と共に月一回の訓練を行っている。 ・防災委員会で検討しBCPを策定した。東京都のBCP策定講座動画を視聴し職員に周知した。
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。	8			・見学时に確認している。面談の時や日々の状況は連絡ノートや電話等で確認を取っている。
	49	食物アレルギーのあるこどもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	8			・医師からの指示の内容を保護者から聞き、それに基づいて対応している。 ・保護者を通して確認している。 ・個別に保護者からの情報に基づいて対応している。
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	8			・避難訓練を定期的に実施している。
	51	こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	8			・安全計画を作成し点検を行っている。 ・来所時刻やお迎えの時間が予定より遅い場合はすぐに電話で確認を取っている。
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	8			・ヒヤリハットを事例集に記入し職員全員が共有している。 ・振り返りで共有し、記録も付けている。 ・事案が起こった際にヒヤリハットを作成し、申し送りや振り返りの時に話し合い周知し再発防止に向けて検討している。
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	8			・虐待防止の研修を受けたり、ケア会議を行っている。 ・委員会を設置し適正な対応ができるよう努めている。法人全体で研修会を開催し全職員が参加している。 ・年に1度研修の機会があり、多くの職員が参加している。
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、こどもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。	8			・契約時に保護者に説明し、計画に記載している。 ・やむを得ず行う場合は、保護者に十分に説明し了解を得た上で記載している。	